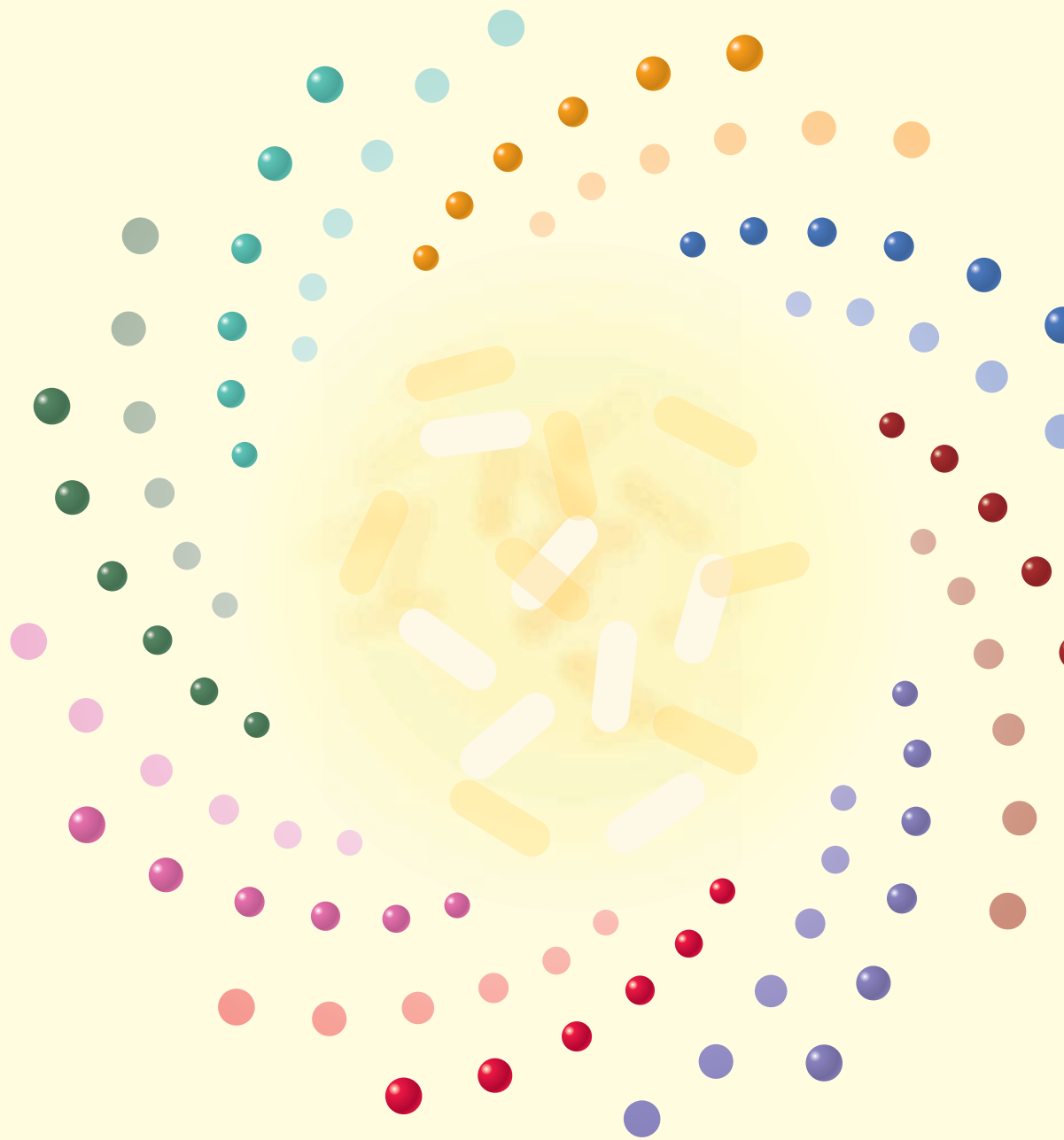


Yakult

COMPANY PROFILE

会社概要 2019-2020



創業の想いを 人々へ、社会へ、 そして未来へ

代表取締役社長 根岸 孝成



平成から令和へ元号が変わり、新たな歴史の扉が開かれました。私たちは、今、未来に向けて、一人ひとりが主体的に考え、行動していかなければならない時代を迎えています。しかし、変化の激しい時代の中でも、守り抜くべきものもあります。

ヤクルトの創始者、医学博士 代田 稔が生を受けたのは今から120年前、明治時代のことです。代田は一心不乱に微生物研究に取り組むことによって、生きて腸にとどいて有用なはたらきをする乳酸菌を見だし、乳酸菌飲料として「ヤクルト」を世に送り出しました。一人でも多くの人に健康を届けたい、その熱き想いは、今後も決して変えてはならないものにほかなりません。

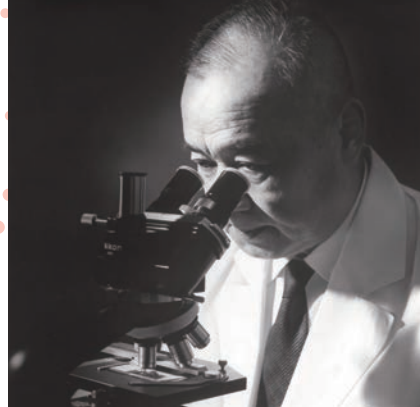
この創業の想いは医薬品や化粧品の開発・製造・販売などの事業活動にも受け継がれています。そして、「私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。」という企業理念には、製造業としての事業遂行のみな

らず、地域社会への貢献、科学技術の振興と情報発信、スポーツ振興、環境の保全といった活動を推進することへの想いも込められています。想いは行動となり、2018年6月には「第2回日本サービス大賞」経済産業大臣賞を、同年12月には「第2回ジャパンSDGsアワード」のSDGsパートナーシップ賞を受賞するなど、皆さまから評価していただく結果につながっています。

世界の人々に健康を届けたい。この創業の純粋な想いが実を結び、現在は40の国と地域で、毎日4,000万人以上の皆さまに愛飲していただくまでになりました。今後も成長し続けるためにも、持続可能な事業活動が不可欠であることは言うまでもありません。私たちは、世界中のお客さまをはじめとした、すべてのステークホルダーのお役に立てる企業を目指し、これからもたゆまぬ努力を続けてまいります。

すべての人に すこやかな毎日を

今や、日本のみならず
世界のさまざまな国と地域で親しまれているヤクルト。
その歩みは、一人の若者の切なる願いから始まりました。
創始者である代田 稔の熱い想いは現在も着実に受け継がれ、
ヤクルトのすべての事業活動の基盤となっています。



代田 稔(しろた みのもる)

医学博士

株式会社ヤクルト本社

元代表取締役会長兼中央研究所長

1899年 長野県飯田市に生まれる

1921年 京都帝国大学医学部入学

1930年 医学博士の学位を得る

生涯を腸内菌の研究と予防医学の普及に捧げ、1982年、82歳の天寿を全うし、その生涯を閉じる。

ヤクルトの始まり

病気にかからない「予防医学」の 追究から、微生物のチカラに着目。

ヤクルトは、医学博士である創始者 代田 稔の強く熱い想いから生まれました。

代田が若き日を過ごした20世紀初頭、日本では衛生環境や栄養状態の悪さから、コレラや赤痢などの感染症で多くの人が命を落としていました。その状況に胸を痛めていた代田は医学を志し、1921年に京都帝国大学(現在の京都大学)に入学。病気にかってから治療するのではなく、病にかからないための「予防医学」こそが重要だという視点から、微生物研究の道に入ります。

そして乳酸菌が腸の中の悪い菌を抑えることを発見。1930年、胃液や胆汁などの消化液に負けずに生きたまま腸内に到達して、有益な作用を発揮する乳酸菌の強化培養に成功しました。それが今日、「乳酸菌 シロタ株」と呼ばれている「L. カゼイ・シロタ株」です。

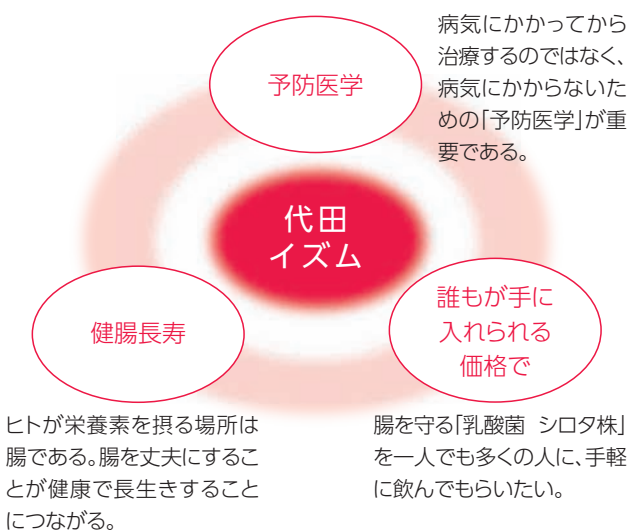
この乳酸菌を多くの人の健康に役立ててもらうため、代田は有志とともに安価でおいしい飲料として製品化した乳酸菌飲料「ヤクルト」を1935年に発売しました。これが現在、世界中で親しまれている「ヤクルト」の始まりです。

代田イズム

ヤクルトの「原点」として、 すべての事業活動の中に息づく。

代田は、「予防医学」を含めて三つの考えを提唱しました。私たちはこの考えを「代田イズム」と呼び、すべての事業の原点と位置付けています。また、商品を「宅配」でお届けするというスタイルは、「真心」や「人の和」を大切ににした代田の想いに根差したものです。

創始者の想いは「代田イズム」として、時代の変遷にも揺らぐことなく現在もしっかりと受け継がれています。



代田イズムには、このほか「真心」「人の和」「正直・親切」「普及の心」「宅配の心」などの考えがあります。

「健康」を さまざまな面から支える

ヤクルトはライフサイエンス(生命科学)を基盤とした

独自のプロバイオティクス*研究の成果を製品化し、

安全性と質の高さにこだわって製造。

食品・化粧品・医薬品の領域で多くの商品を世に送り出し、

皆さまの健康づくりをサポートしています。

そしてヤクルトのプロバイオティクスは、今や40の国と地域に広がっています。



*腸内フローラのバランスを改善することにより人に有益な作用をもたらす、生きた微生物のこと。また、現在では、十分量を摂取したときに宿主に有益な効果を与える生きた微生物という定義(FAO/WHO)も公表されています。



プロバイオティクスの パイオニアとして

創業以来、一貫して微生物の可能性を追究してきたヤクルト。
一人でも多くの方のすこやかな生活づくりに貢献すべく、
微生物の新たなチカラを見いだし、健康につなげるための
取り組みを、これからも真摯に続けていきます。



ヤクルトのプロバイオティクス

選び抜かれた、独自のプロバイオティクスを活用。

近年、人によいはたらきをする乳酸菌やビフィズス菌などの微生物を「プロバイオティクス」として健康に役立てようという考えが注目を集めています。この概念は、ヤクルトの創始者 代田 稔が提唱した「予防医学」「健腸長寿」の考え方そのもの。ヤクルトはこの考えのもと、創業時から微生物の可能性に着目し、たゆまぬ研究でそのはたらきを追究して、人の健康に役立つ製品の開発につなげてきました。

中でも、L. カゼイ・シロタ株やB. ブレーベ・ヤクルト株はプロバイオティクスの代表的な存在で、ヤクルトの研究活動における各種安全性試験や長年の飲用試験などによって、胃液などの消化液に負けず生きたまま腸にとどき、確かな効果を発揮することが確認されています。

プロバイオティクスの可能性を求めて

微生物研究のさらなる発展を通じ、皆さまの健康に寄り添い続ける。

ヤクルトは現在、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) と共同で、国際宇宙ステーション (ISS) における研究に取り組んでいます。これは、ISSでのプロバイオティクス (L. カゼイ・シロタ株) の継続摂取によって免疫機能や腸内環境に及ぼす効果を科学的に検証し、宇宙飛行士の健康やパフォーマンスの維持・向上への貢献を目指すものです。また、得られた知見を地上でのプロバイオティクス研究の発展につなげるとともに、地球上の人々の健康増進に役立てることも目的としています。宇宙飛行士によるプロバイオティクス摂取実験に先立ち、ISSで長期 (約1か月間) 保管した場合、L. カゼイ・シロタ株の生菌数や発酵性状、遺伝情報、免疫調節作用がどのような影響を受けるか検証し、宇宙環境においてもプロバイオティクスとしての機能が維持されることを確認。来たるべき宇宙時代におけるプロバイオティクス活用の道を切り拓く、確かな一歩を踏み出しました。

これからもヤクルトは原点である代田イズムと企業理念のもと、健康という何物にも代えられない喜びを、皆さまにお届けしていきます。



国際宇宙ステーション (ISS)

この一本にすこやかな 毎日への思いを込めて



食品事業

Foods and Beverages

ヤクルト独自のプロバイオティクスを
手軽に、おいしく摂れる乳製品。

さまざまな健康ニーズにお応えする飲料や食品。

多彩な商品を取り揃え、

皆さまの「健康で楽しい生活づくり」をサポートしていきます。

ヤクルトの乳製品

独自のプロバイオティクスを おいしく続けて摂取できる商品に。

選び抜かれたプロバイオティクスである乳酸菌 シロタ株やビフィズス菌 BY株を、ライフスタイルに合わせて摂取していただける乳製品乳酸菌飲料、はっ酵乳をご提供しています。

私たちはこれからもプロバイオティクスのさらなる可能性を追究した商品で、お客さまの「健康で楽しい生活づくり」をお手伝いしていきます。

乳酸菌 シロタ株の商品

乳酸菌 シロタ株は生きたまま腸にとどき、腸内環境を改善するはたらきをもっています。乳酸菌 シロタ株を手軽に、継続して摂取できる商品を数多く取り揃えています。

ビフィズス菌 BY株の商品

生きたまま腸にとどき、主に大腸ではたらくビフィズス菌 BY株も、ヤクルト独自のプロバイオティクスです。このビフィズス菌 BY株を手軽に摂取できる商品を展開しています。

各種飲料・食品

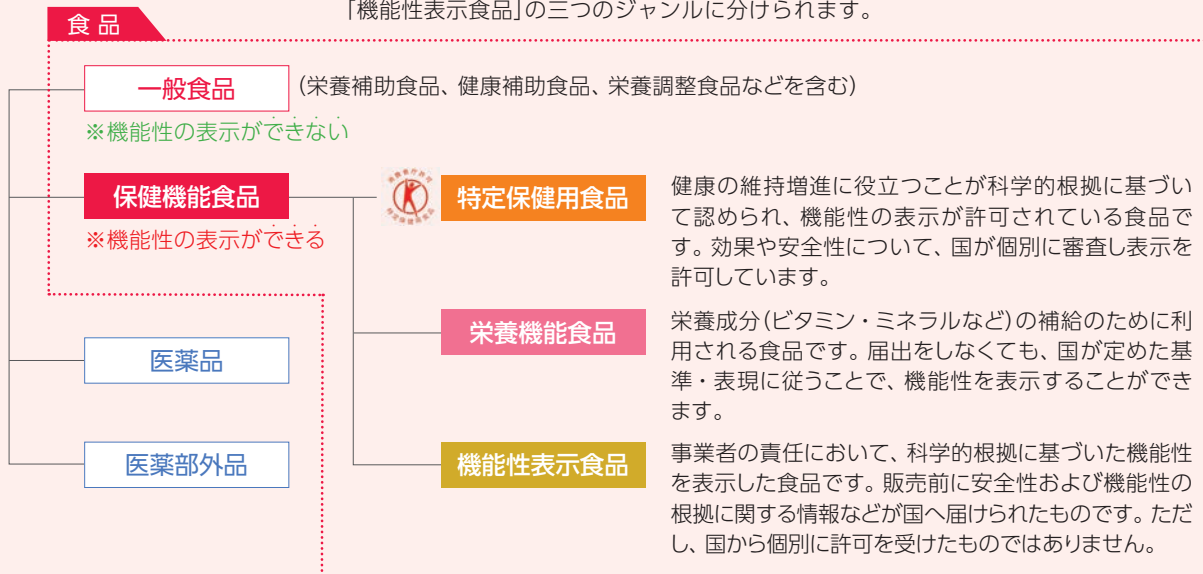
多彩な健康ニーズにお応えする 幅広い商品をラインアップ。

乳製品以外の飲料・食品分野においても生活習慣や野菜不足など、現代人のからだの不安にお応えする商品を展開しています。これからも時代のニーズを見つめ、さまざまな角度から開発した健康づくりに役立つ商品をお届けしていきます。



保健機能食品とは

健康食品のうち、国が安全性や有効性について一定の条件を満たした食品を「保健機能食品」として表示し、販売することを認めるために創設された制度です。食品の目的や機能などの違いにより、下図のように「特定保健用食品」「栄養機能食品」「機能性表示食品」の三つのジャンルに分けられます。



日本国内の 商品展開

ヤクルトの代表的なプロバイオティクスである乳酸菌 シロタ株と
ビフィズス菌 BY株が摂取できる乳製品を中心に、すこやかさと
おいしさを追究した商品を幅広くラインアップしています。

乳酸菌 シロタ株の商品ラインアップ

乳製品乳酸菌飲料



ヤクルト400
1本(80ml)で
400億個の乳酸菌
シロタ株が摂れる



ヤクルト400LT
「ヤクルト400」に
比べカロリー、
甘さひかえめ



Newヤクルト
1本(65ml)で
200億個の乳酸菌
シロタ株が摂れる



**Newヤクルト
カロリーハーフ**
「Newヤクルト」に
比べカロリー・糖質
50%カット



ヤクルトファイブ
1本(80ml)に
300億個の
乳酸菌 シロタ株と、
5種類の栄養成分を
配合



**ヤクルト
Yakult 1000**※1
1本(100ml)に
1,000億個の
乳酸菌 シロタ株。
機能性表示食品



プレティオ
GABA (γ-アミノ酪
酸)含有。
血圧が気になる方に



**シンバイオティクス
ヤクルト W**
1本(100ml)で
乳酸菌 シロタ株
300億個とガラクト
オリゴ糖をWで摂取



毎日飲むヤクルト ※2
1本(100ml)に
300億個の
乳酸菌 シロタ株。
甘さひかえめ、
「脂肪ゼロ」でビジネス
パーソンをサポート

ビフィズス菌の 商品ラインアップ



BF-1
胃ではたらく
B.ビフィダム Y株



ミルミル
1本(100ml)に
120億個以上の
ビフィズス菌
BY株



ミルミル S
1本(100ml)に
120億個以上の
ビフィズス菌
BY株。
ガラクトオリゴ糖や
食物繊維などを配合

はっ酵豆乳



**ヤクルトの
はっ酵豆乳**
乳酸菌 シロタ株と
大豆イソフラボンを
1本で



ジョア
乳酸菌 シロタ株と
牛乳の栄養素を
多彩な風味で楽しめる



ジョア
(食べるタイプ)
ジョアの魅力を
「食べる」スタイルで



ソフール
乳酸菌 シロタ株
が入った
ハードヨーグルト



**ソフール
元気ヨーグルト**
鉄・カルシウムが
おいしく摂れる

各種飲料の主な商品ラインアップ



蕃爽麗茶

糖の吸収をおだやかにする。
食後の血糖値を気にする方に



ミルージュ シリーズ

すっきりした風味で
ゴクゴク飲める



タフマン シリーズ

高麗人蔘配合。
栄養ドリンクの定番



ヤクルトのおいしいはっ酵果実

乳アレルギーの方にも
乳酸菌のチカラを

※1: 関東1都6県で、2019年10月1日発売。

※2: 全国のセブン&アイグループの店舗で販売中。

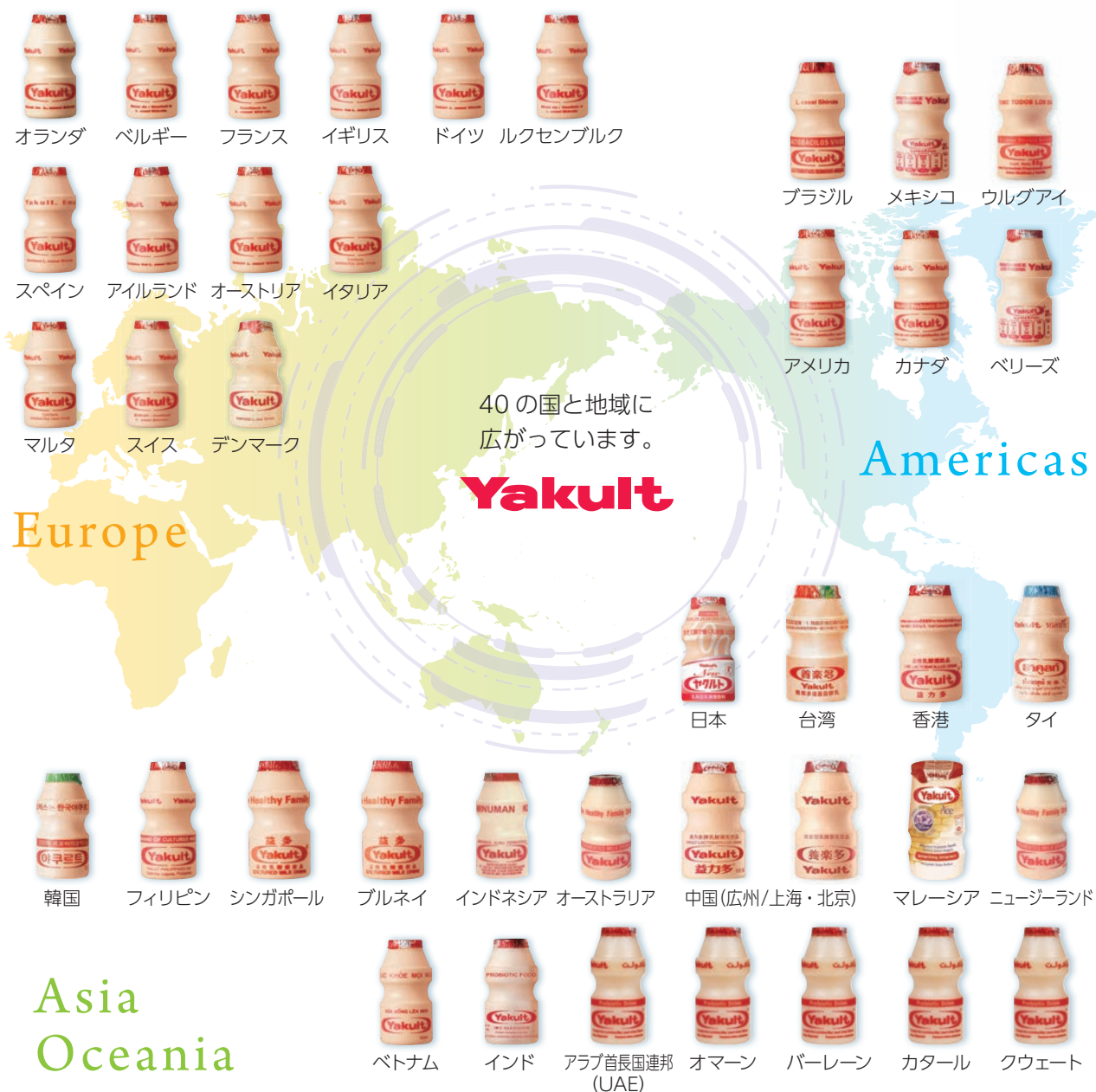
※3: 特定保健用食品は、「ジョア」はプレーンのみ、「ソフール」は一部の期間限定商品を除く。

ヤクルトの乳製品・飲料・食品について、詳しくは
ヤクルト本社Webサイト「商品情報」



海外における Yakultの展開

「世界に伝えようYakultの心、広げよう健康の喜び」をテーマに、Yakultブランドのグローバル化を進め、プロバイオティクスの価値を世界各地で伝えています。



※国や地域によって容量が異なります。
※2019年8月からミヤンマーで販売。

グローバルブランド「Yakult」へ

2017年に続き2018年も、ワールド・ブランディング・フォーラム*主催のワールド・ブランディング・アワード(WBA)において、Yakultは世界で優れたブランドの一つとして「ブランド・オブ・ザ・イヤー」(グローバル・アワード)を受賞しました。

一人でも多くのお客さまの健康づくりに貢献するため、ヤクルトはこれからもグローバルブランドとしての確立・浸透を図っていきます。

※業界および消費者のためにブランディングの基準を高めることを目指して活動する世界的な組織。



▲2018年10月31日にイギリス・ケンジントン宮殿で行われたWBA授賞式の様子。

国際事業
International
Business

世界中の人々に 健康という幸せを

世界各地にネットワークを広げるヤクルト。

「現地主義」を大切に、

プロバイオティクス飲料のパイオニアとして

その価値を伝えながら、地域の皆さまのすこやかな毎日と

社会への貢献を目指しています。



ヤクルトの国際事業

「一人でも多くの人に健康を」—— 創始者 代田 稔の想いを世界に広げて。

ヤクルトは現在、海外29の事業所を中心に、日本を含むアジア、オセアニア、米州、ヨーロッパの40の国と地域で現地生産を基本として商品の販売を行っています。海外のお客さまに愛飲されている乳製品の数1日約3,113万本^{※1}。約47,300人のヤクルトレディと、店頭において約789,600店の取引店を通じて、お客さまに商品をご提供しています^{※2}。

※1 2018年(1～12月)平均。

※2 2018年12月末現在。

グローバル展開

「Yakult」のグローバル化を進め、各地の状況を踏まえた商品展開も実施。

「健康」は世界共通の願いであり、「予防医学」「健腸長寿」の考えは海外においても意義あるものと私たちは考えます。そして、乳酸菌 シロタ株を多くの方に利用していただけるよう、ヤクルトブランドのグローバル化を進めています。また、それぞれの国や地域の生活文化・食習慣や健康意識に合わせて商品をお選びいただけるようラインアップを充実させるなど、世界の皆さまに継続して乳酸菌 シロタ株を摂取していただくための取り組みを行っています。

現地主義

各地の社会で親しまれることを目指し、地域に根差した事業を展開。

ヤクルトは、現地生産・現地販売を基本とする「現地主義」でグローバル事業を展開しています。地域に根差した生産・販売の拠点として事業所や工場を設け、現地社員を積極的に採用。独自の販売システムであるヤクルトレディによる宅配も、多くの国と地域で実施しています。

また、プロバイオティクスのはたらきを知り健康維持に役立てていただけるよう、宅配や店頭などでのご説明、工場見学などを通じてお客さまにその価値をお伝えする活動を数多く展開しています。



中国 佛山工場

現地での生産体制を拡充

世界各地のお客さまがいつも高い品質の乳製品を飲用できるよう、現地生産体制の拡充に力を入れています。

近年の動向

- 2014年 …… [1月] インドネシア スラバヤ(モジョコルト)工場で生産開始
[3月] 中国 広州第2工場で生産開始
[5月] アメリカ カリフォルニア工場で生産開始
[6月] 中国 天津工場第2工場棟で生産開始
[10月] 台湾 中壢工場の新工場棟で生産開始
- 2015年 …… [6月] 中国 無錫工場で生産開始
- 2019年 …… [3月] 中国 佛山工場で生産開始
[6月] 中国 無錫工場第2工場棟で生産開始
[8月] ミャンマー ミャンマー工場で生産開始

乳酸菌のチカラ[※]を、 素肌のチカラに。



化粧品事業 Cosmetics

ヤクルトはプロバイオティクスの可能性を
追究する中で、数多くのオリジナル保湿成分を開発。
ヤクルト ビューティエンスというブランドで、
それらを配合した高品質な化粧品をお届けし、
お肌のすこやかさをまもるお手伝いをしています。

※乳酸菌由来の保湿成分。

ヤクルトの化粧品事業について、詳しくは
Yakult Beautiensサイト



ヤクルトの化粧品事業

オリジナルの保湿成分を配合した化粧品を自社工場で製造し、お客さまへ。

ヤクルトと化粧品との関わりは、創始者 代田 稔が、皮膚や粘膜を保護する乳酸菌のはたらきに着目したことに始まります。プロバイオティクスと皮膚科学の探究をたゆまず続け、厳しい評価によって安全性やはたらきを確かめながら、ヤクルトは多くの保湿成分を独自開発してきました(下記参照)。自社で開発した化粧品を自社工場で製造し、安全で高品質な化粧品をお客さまにお届けしています。

内外美容・健腸美肌

化粧品事業の基盤となる考え

乳酸菌飲料で
からだの内側・おなかの調子をととのえる



乳酸菌生まれの成分を配合した化粧品で
からだの外側・お肌のすこやかさをまもる



▲ヤクルト ビューティエンス最高峰のエイジングケア*シリーズの「パラビオ」、うるおいに満ちたお肌をたもち続けたいと願う方のために生まれた「リベシィ」シリーズなどを展開しています。

※年齢に応じたお手入れのこと。

ヤクルトビューティの取り組み

「美容のプロフェッショナル」として、
丁寧にお話を伺い、アイテムをご提案。

商品の特性を理解したうえでお肌の状態に合ったアイテムをお使いいただけるよう、ヤクルトビューティやヤクルトレディがお客さまにお届けするスタイルを中心としています。ヤクルトビューティは商品やお肌について確かな知識をもつ「美容のプロフェッショナル」。お客さまに向き合いしっかりとカウンセリングをして肌状態や悩みを把握し、最適な化粧品のご提案や美容のアドバイスをを行います。



▲的確なアドバイスが行えるよう、ヤクルトビューティは研修会や資格取得を通じて美容や商品の知識向上を図っています。

代表的なヤクルトオリジナルの保湿成分

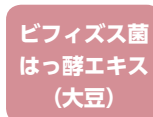


多数の乳酸菌株の中から選び抜いた乳酸菌でミルクを発酵させて得られます。お肌本来のうるおい成分である天然保湿因子と似ているため、お肌によくなじみます。

※乳酸菌は「酵エキス(ミルク) (成分名:ホエイ(2))」のこと。



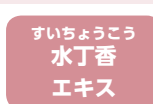
乳酸菌からつくり出した、水分保持力の高いヒアルロン酸。みずみずしいお肌をたもちます。



良質な大豆(豆乳)をビフィズス菌で発酵させ、イソフラボンを活性型にした保湿成分。ハリのあるみずみずしい素肌に導きます。



お肌のラメラ構造に着目して開発された保湿成分。乱れがちなお肌をすこやかな状態にととのえ、ハリのあるみずみずしいお肌に導きます。



約600種類の植物の中から選び抜いた「水丁香」から抽出した植物エキス。お肌をすこやかにたもちます。

オンコロジーカンパニーとして 多くの方に希望を届ける



医薬品事業 Pharmaceuticals

皆さまの「すこやかな毎日」のために事業を展開してきたヤクルト。健康を追究する中で医療分野にもビジネスフィールドを広げ、特にオンコロジー（がん）領域において、国内外から高い評価をいただいています。

ヤクルトの医薬品事業

医療用医薬品を中心に、幅広い分野で「治療」をサポート。

ヤクルトの医薬品事業は、1961年に食品用や医薬品原料用の酵素を中心とした製品の製造・販売を開始したことに始まります。その後、医療用医薬品や一般用医薬品、医薬部外品、医療機器、試薬などへと分野を広げていきました。現在は、特にオンコロジー領域に力を入れ、国内外の多くの医療現場でがん治療に用いられている薬剤を販売。新たな抗がん剤の開発や、医療技術の進展を見据えた新分野への挑戦など、積極的な事業活動を展開しています。

オンコロジー領域の取り組み

抗がん剤から関連薬剤まで取り揃え、
治療に関する情報をご提供。

大腸がんの治療になくてはならない抗がん剤として浸透している「エルプラット点滴静注液(オキサリプラチン)」(以下「エルプラット」)と「カンプト点滴静注(イリノテカン塩酸塩水和物)」(以下「カンプト」)を提供しているヤクルトは、特に消化器領域において国内外で高い評価を得ています。ヤクルトはこのほか、ゲムシタビン点滴静注用「ヤクルト」、イマチニブ錠「ヤクルト」などの抗がん剤も販売。抗がん剤の作用を増強するレボホリナート点滴静注用「ヤクルト」など、がん周辺領域の薬剤も揃えています。

また、専門性の高い知識を有する162人*のMR(医薬情報担当者)や、学会でのブース展示、セミナーの開催などを通じて、自社製品はもちろん、治療に関する幅広い情報を医療現場にご提供しています。

※2019年3月末現在。



▲すべての患者さんが公平に良質な医療を受けられるよう、学会やセミナーなどでも、「標準治療」(科学的根拠から導き出された、その時点で最も有効とされる治療法)に関する情報提供を行っています。

ヤクルトの代表的な製品

○医療用医薬品(抗がん剤)

エルプラット

1976年に日本で合成されヨーロッパで開発されました。日本ではヤクルトが開発を行い、2005年3月に輸入承認を取得、同年4月より国内販売を開始しました。治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸がんの治療、結腸がんにおける術後補助化学療法、治療切除不能な膵がんの治療、胃がんの治療、小腸がんの治療に用いられます。



カンプト

1983年にヤクルト中央研究所で合成し、開発した抗がん剤です。1994年1月に小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸がん、卵巣がんの適応で製造承認を受け、同年4月に発売しました。現在では結腸・直腸がんや胃がん、治療切除不能な膵がんの治療などにも使用されています。



○指定医薬部外品(ビフィズス菌・乳酸菌製剤)

ヤクルトBL整腸薬

ヤクルトのプロバイオティクス研究から生まれた、ビフィズス菌・乳酸菌製剤です。便通を整えたり、腹部膨満感や軟便、便秘を改善する作用があります。水なしで服用できるチュアブル錠の「ヤクルトBL整腸薬S錠」も展開しています。



「科学するヤクルト」—— ライフサイエンス研究を 健康につなげる



研究開発

Research and
Development

「プロバイオティクスのパイオニア」

ヤクルトの原動力となっているのが研究開発活動です。

ライフサイエンス（生命科学）を追究し、着実にエビデンスを積み重ね、確かなものだけを素材として製品に結実させる。

予防医学の普及と発展のため、あくなき取り組みを続けています。

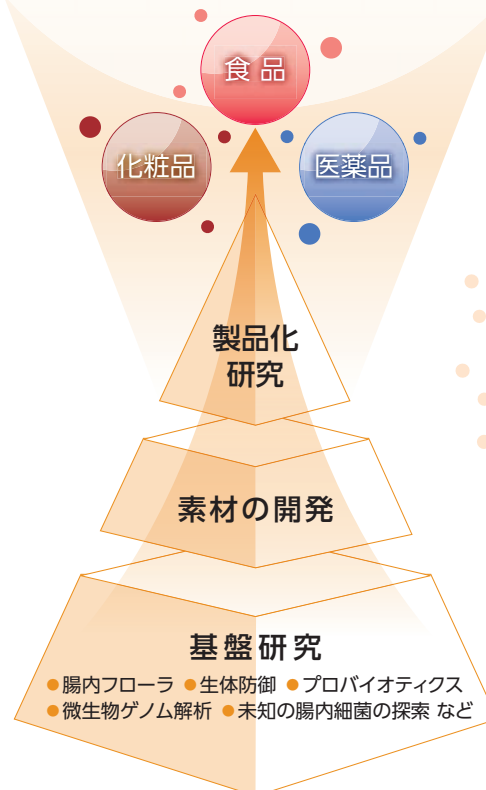
ヤクルトの研究開発について、詳しくは
ヤクルト中央研究所Webサイト



ヤクルトの研究開発活動

プロバイオティクスのはたらきを解明し、
「健康で楽しい生活」につながる製品を開発。

研究開発活動は、食品・化粧品・医薬品と広がるヤクルトの商品展開の基盤となるものです。予防医学を実現し、人々の健康に貢献するため、腸内微生物を軸とした有用微生物の研究に取り組み、分子生物学や免疫学、生理学、栄養学などさまざまな角度から腸内微生物と健康との関わりを追究。その成果を、食品や化粧品、医薬品の製品開発につなげています。同時に、そのはたらきがこれまで注目されていなかった微生物や天然物を探索し、新規素材として開発する取り組みも積極的に行っています。



研究開発の拠点「中央研究所」

充実の機器・設備を揃え、
微生物研究の発展をリード。

研究開発活動の拠点である中央研究所は、先進的な研究機器・設備が導入された7つの棟(研究管理棟、基礎研究棟、食品研究棟、医薬品・化粧品研究棟、品質・技術開発棟、共用研究棟、エネルギー棟)で構成されています。充実した環境の中、基礎研究や、食品・化粧品・医薬品の開発を目的とした応用研究、安全性に配慮したものづくりや環境保全に関わる分析事業など、幅広い研究活動を展開しています。

ヤクルトの研究開発



ヤクルト本社 中央研究所(東京都国立市)

海外における研究活動

世界の人々の健康に役立てるため、
各地のエビデンスを収集。

国内のみならずアジアやヨーロッパなど世界各地においても、プロバイオティクスの飲用効果の実証とその作用メカニズムの解明などに取り組んでいます。ヨーロッパでは、ベルギーのアントワープ市にヨーロッパ研究所を設置。「ヨーロッパの人々の健康維持にプロバイオティクスがどのように作用するか」を中心に研究を行っています。そしてこれらのデータの蓄積により、グローバルな事業展開のための研究基盤の確立を目指しています。



非営利法人ヤクルト本社ヨーロッパ研究所(ベルギー・アントワープ市)
テクノロジーパーク内バイオインキュベーター
※ヨーロッパ研究所は、同館1階に設置されています。

さまざまな研究と成果

一貫してプロバイオティクスを見つめ、 乳酸菌や腸内細菌の有用性を解明。

ヤクルトは創業以来、プロバイオティクスや腸内フローラ*の基盤研究に取り組んでおり、世界でもトップレベルの研究開発力を有しています。近年は他機関との共同研究も行い、プロバイオティクスのさらなる可能性を追究しています。

乳酸菌の研究

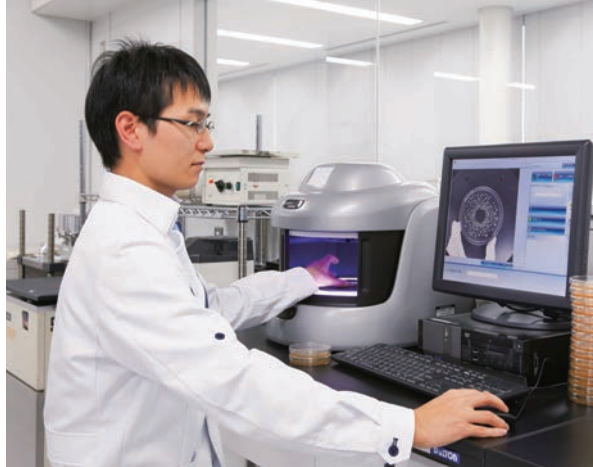
免疫力調節や発がんリスク低減、 感染症の発症率低減などの有用性を確認。

ヤクルトは長年の研究により、乳酸菌が多くの有用性をもつことを明らかにしています。中でも、プロバイオティクスの代表的な存在であるL・カゼイ・シロタ株については、免疫のカギを握る「NK活性*」を維持・回復させるなど、摂取によってからだの免疫力を調節することを解明しています。さらに、有害な変異原物質を体外に排泄するなど、発がんリスクを低減することもわかってきました。現在までに、膀胱がんや大腸がん、乳がんについて発症リスクの低減を確認しています。

ほかに、小児急性下痢症や上気道感染症、ノロウイルスによる感染性胃腸炎等の感染症についても発症率低減や症状緩和などの効果を有することなどを解明しています。



微生物の培養試験



生菌数の測定

腸内細菌の研究

先進の研究力で、腸内細菌や 腸内フローラの実態解明をリード。

腸内細菌の研究でも、多くの成果を収めています。新生児の腸内に存在するビフィズス菌は母親から伝播することを、世界で初めて証明しました。このほか、さまざまな哺乳動物の腸内細菌であるセグメント細菌が、免疫システムの中心的役割を果たすT細胞の一種「Th17細胞」の誘導に関わることなどを解明しています。

腸内フローラの効率的な解析を実現するシステム「YIF-SCAN®」(イフスキャン)も開発しています。これは、個々の腸内細菌がもつ特徴的な遺伝子配列に基づき、細菌を選択的に定量化するもので、多数存在する菌から少ない菌まで幅広く、高感度な解析を迅速に行います。「YIF-SCAN®」は、腸内フローラの実態解明に大きく貢献しています。



腸内フローラ解析システム「YIF-SCAN®」

※YIF-SCANは登録商標です。

用語解説

*腸内フローラ

人の腸管内に生息する細菌(腸内細菌)が集まって構成している複雑な微生物生態系(マイクロビオタ)のこと。腸内細菌は、およそ千種類約百兆個にものぼります。

*NK活性

病原菌やウイルス、がんなどから私たちのからだを守る「免疫」システムの最前線ではたらくのがNK(ナチュラルキラー)細胞です。NK活性とは、NK細胞のはたらきの強さのことで、近年は免疫力を測るバロメーターとして認識されています。



多重染色FISH法を用いた
腸内フローラ解析

多重染色FISH法による
細菌(黄)の観察像

活用されている成果

プロバイオティクスの力を さまざまな分野で役立てる。

ヤクルトの研究活動の成果は、製品開発のほかにも、さまざまな分野で活用されています。医療分野で活用されている研究成果の一つに、プロバイオティクスと、おなかの中の有用な菌の増加を助けるはたらきのあるプレバイオティクス*と一緒に摂取する「シンバイオティクス療法」があります。術後感染症の発症抑制や免疫機能の回復、栄養状態の改善など、特に消化器手術といった微生物感染リスクの高い症例において有用性が数多く報告され、医療機関で利用されています。

他機関との共同研究

多角的な視点から微生物を見つめ、 さらなる可能性を追究する。

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA、P.4参照)をはじめ、各分野をリードするさまざまな機関との共同研究に、積極的に取り組んでいます。2018年4月には、国立大学法人 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構と共同研究を開始。腸内フローラを標的とした新たな疾病予防法や治療法の創出、予防医学に基づく乳酸菌飲料および発酵乳の生理的意義を明らかにすることを目的としたもので、2020年度末までの期間を予定しています。

開発部門の取り組み

基礎研究・製品化研究の成果を 「健康に役立つ」商品に結び付ける。

開発部門では、基礎研究や製品化研究を経て、はたらきと安全性が確認された新規素材を活用して商品開発につなげています。近年、特に力を入れているのが、これまでにない特徴をもった商品の開発です。

ヤクルト独自の乳酸菌「L. プランタルム YIT 0132」を使って温州みかん果汁を発酵させた乳酸菌はっ酵果汁飲料「ヤクルトの美味しいはっ酵果実」は、乳などのアレルギー特定原材料を含まず、乳アレルギーの方にも乳酸菌を摂っていただける商品として開発しました。

このほか、実生産に向けた技術開発試験を行うなど効率的で安定した製造技術の確立や、品質保証のための研究も行っています。



食品素材の機能検証

*プレバイオティクス

①消化管上部で分解・吸収されない、②腸に共生する有益な細菌の栄養源となり、それらの増殖を促進する、③腸内フローラ構成を健康的なバランスに改善し維持する、④人の健康の増進維持に役立つ、の条件を満たす食品成分。オリゴ糖や食物繊維の一部がプレバイオティクスとして知られています。

高品質な製品づくりを通じて 健康に貢献する



生産活動 Production

皆さまの「すこやかな毎日」につながる商品を
着実にお届けするために。

ヤクルトは、乳製品、化粧品、医薬品を一貫した管理のもとで生産。
安全・安心なものづくりを真摯に追求し、
高品質な製品の実現につなげています。

ヤクルトの工場について、詳しくは
ヤクルト本社Webサイト「工場見学へいこう」



乳製品

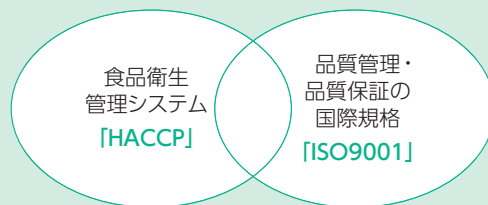
徹底した衛生管理・ 品質管理体制のもとで製造。

ヤクルトは徹底した衛生管理・品質管理体制のもと、菌を大切に培養し、原料の仕込み・調合、容器の成形や充填、包装も自社工場で実施。安心してご愛飲いただける高品質な製品を通じて、プロバイオティクスを有効な状態でお客さまにお届けし、健康づくりを後押ししています。



▲すべての製品にヤクルト独自の品質基準を設け、機械と人の目で検査を行っています。「ヤクルト400」の場合、品質基準の項目数は150以上に及びます。

ヤクルト独自の品質管理基準



ヤクルトの各工場では、HACCP*、ISO9001*、ISO14001*の認定取得や導入を行い、製品の品質向上や環境にやさしいものづくりに努めています。



▲使用した機械や配管は細かい部品にまで分解し、手洗いでの洗浄を毎日実施。洗い残しやキズなどの異常の有無を「人の手と目」で確認しています。いつもきれいで清潔な状態を保つため、細心の注意のもとで洗浄・殺菌を行っています。

化粧品

厳格なチェックで「お肌のすこやかさ」を守る。

ヤクルトの化粧品を製造しているのが湘南化粧品工場です。乳酸菌から生まれたS.E.(シロタエッセンス)などのオリジナル保湿成分を製造し、配合した高品質な化粧品を生産しています。いつでも同じように高い品質の製品をつくるために、化粧品GMP(化粧品の製造・品質管理に関する技術指針)に従って生産を行っています。



▲お客さまのお肌に触れる製品として、「人の目」による確認を必ず行っています。

医薬品

国内外の品質管理基準に適合する体制を構築。

抗がん剤「エルプラット」「カンプト」をはじめとする医薬品を、富士裾野医薬品工場で製造しています。富士裾野医薬品工場では、国内外の厳しいGMP(医薬品等の製造・品質管理基準)に適合した高度な体制を構築し、安全かつ高品質な製品づくりを行っています。



▲富士裾野医薬品工場の管理基準は、日本、アメリカのGMPに適合しています。

用語解説

*HACCP

Hazard Analysis and Critical Control Point
危害分析・重要管理点。衛生管理に関する国際基準。

*ISO9001

品質マネジメントシステムの
国際規格。

*ISO14001

環境マネジメントシステムの国際規格。

宅配営業

Home Delivery

真心を込めて、商品をお手元へ

「真心」「人の和」を大切にするヤクルトの姿勢から生まれた、「宅配」というお届け方法。地域に根差して活動するヤクルトレディが、お客さまに向き合い、商品をお届けしています。



宅配営業の取り組み

笑顔で商品をお届けして半世紀。

ヤクルトは、真心を込めてお客さまに直接商品をお届けする「宅配」を大切にしており、1963年の「婦人販売店システム」導入以来、ヤクルトレディがこの宅配を担っています。また、多様化する時代のニーズを踏まえ、インターネットでご注文を受け付けてお客さまにお届けする「ヤクルト届けてネット」を導入しています。

ヤクルトレディの活動

「地域の健康アドバイザー」を目指して。

ヤクルトレディは、商品だけでなくプロバイオティクスのはたらきなどさまざまな情報をお届けする「地域の健康アドバイザー」の役割も担います。お客さまに信頼される存在となるため、中央研究所の研究員による研修会や、ヤクルトレディ同士の勉強会などを通じて、常に知識の向上を図っています。



直販営業

Direct Sales

一人でも多くの方へすこやかな毎日を

ライフスタイルの中で、いつでも、どこでもお客さまに商品を手にしていただくために。多彩な販売マーケットを展開するとともに、健康情報のご提供も行っています。



直販営業の取り組み

身近な場所で健康づくりをお手伝い。

ライフスタイルに合わせて健康づくりを行っていただけるよう、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの店頭、学校や医療・介護施設の給食などを通じて商品をご提供しています。企業への商品提供などにより健康経営もサポート。乳製品などヤクルトらしいラインアップの自動販売機も好評を博しています。

商品価値や健康情報の提供活動

着実に健康づくりを行っていただくために。

商品の特長を理解してご愛飲いただけるよう、専属のプロモーションスタッフが店頭でお客さまに商品のご紹介や健康情報のご提供を行っています。また、腸の健康の重要性や乳酸菌のはたらきなどについて理解を深められる集客型イベントや健康教室を、大型店や企業などで実施しています。

CSR

企業の社会的責任
Corporate Social
Responsibility

地域と共生し、 環境と調和しながら 人々の健康に貢献する

「世界の人々の健康に貢献する」ことを目指すヤクルトの事業は、それ自体が社会貢献活動ともいえます。「CSR基本方針」や「CSR重点3領域」を定めながら、CSRのグローバルスタンダードであるISO26000に則して計画的に「人も地球も健康に」へ向けた取り組みを行っています。

「CSR基本方針」

私たちヤクルトグループは、企業理念に基づいた企業活動を通じて、グループを取り巻くすべてのステークホルダーから信頼されるよう努力し、共生していきます。

「CSR重点3領域」



「世界の人々の健康に貢献する」ことを目指す企業理念と「人も地球も健康に」とのコーポレートスローガンを掲げ、さらに「地域社会の問題解決への貢献」「地域社会からの『信頼』の構築」を事業活動のベースとし、「健康」「地域社会」「環境」を「CSR重点3領域」としています。

「ISO26000 7つの中核主題」(※重点3領域を踏まえた順)

消費者課題、コミュニティへの参画及びコミュニティの発展、環境、労働慣行、人権、公正な事業慣行、組織統治

地域社会への貢献

愛の訪問活動

ヤクルトレディが商品をお届けしながら、一人暮らしの高齢者の安否確認をしたり、お話し相手になるという活動に取り組んでいます。2019年3月末現在、全国で約2,800人のヤクルトレディが約38,000人の高齢者のお宅を訪問しています。



出前授業

主に小学生を対象に、食育の一環として「出前授業」を行っています。本社支店や販売会社の社員が講師を務め、腸の大切さや乳酸菌のはたらきなどを模型や紙芝居で楽しくお話しています(2018年度は国内で約4,000回実施し、約29万人参加)。



工場見学

ヤクルトの工場では、企業姿勢や商品をより深く知っていただくため、工場見学を積極的に受け入れています(2018年度は、国内の乳製品・化粧品工場などに約28万人、海外の工場に約58万人が来場)。



スポーツ振興

スポーツを通じた社会貢献活動

「東京ヤクルトスワローズ」をとおして、多くの方にプロ野球をお楽しみいただくとともに、シーズンオフには小中学生の野球チームを対象に、現役選手による野球教室を各地で開催しています。さらに、年間をとおしてスワローズOBによる野球教室の開催を支援しています。



また、陸上競技部やラグビー部を運営するなど、従事者による活動を展開し、企業スポーツの振興を図るほか、日本発祥の「バウンドテニス」の振興支援や、国際水泳連盟(FINA)のオフィシャルパートナーとして「FINA世界選手権」「FINA世界水泳選手権(25m)」の協賛などを行っています。

健康情報の発信

健康情報誌

「ヘルシスト」の発行など

「ヘルシスト」は、健康・生命科学・先端研究をキーワードに、最新の研究や健康に関する話題などをわかりやすくお伝えしています。また、各種メディアを通じてさまざまな健康情報を発信しています。



科学技術の振興

腸内フローラシンポジウム

1992年に設立した(財)ヤクルト・バイオサイエンス研究財団(2014年から公益財団法人)では、国内外から最先端の研究者を招いてのシンポジウムを毎年開催しています。



環境活動

「ヤクルト環境基本方針」の制定

「地球環境の保全が『社会と共生する経営』の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。」ことを環境理念として定め、環境負荷低減に取り組んでいます。

「ヤクルト サステナブル・エコロジー 2020」の策定

より長期的な環境活動の将来像として策定。「低炭素社会の実現」「資源の有効活用」「生物多様性の保全と活用」について、ステークホルダーの皆さまとの共生を図りながら、持続可能な社会の形成を目指しています。

環境保全の取り組み

国連の呼び掛けによる世界規模のキャンペーン「グリーンウェイブ」への参加や、公益財団法人オイスカの「子供の森」計画の支援など、環境保全につながるさまざまな活動に取り組んでいます。



健康経営・人材育成

健康経営の推進

2017年9月に社員の心身の健康保持・増進および安全・安心な職場環境を目指す旨の「健康宣言」を打ち出し、会社全体で健康経営を推進した結果、2018年から2年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されています。

職場環境の整備

男性社員の育児休業の取得促進、法律を上回る基準での育児短時間勤務制度の導入などにより、子育て中の従事者を支援。また、時間単位の年次有給休暇の導入やノー残業デーの設定などで、年次有給休暇の取得促進や長時間労働の削減に取り組み、多様なライフスタイルに配慮した職場環境づくりを進めています。

人材育成の取り組み

「個人の成長が組織の成長」との考えから、集合研修・出前研修・通信研修を実施し、グループ社員の能力開発を支援しています。また、「創業の精神=代田イズム」を伝承し実践するための研修を実施しています。

コミュニケーション活動

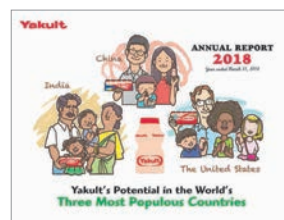
お客さま・従事者に向けて

「ヤクルトCSRレポート」やホームページ、社内報・グループ報などで当社の取り組みについての情報を積極的に発信し、ヤクルトの活動に関して周知・PRを図っています。



株主・投資家に向けて

アナリスト向けの決算説明会や電話会議の開催、見学会や個別取材を通じて事業理解を促進しています。また、ホームページに「アニュアルレポート」や長期財務データなどを掲載し、積極的な情報提供を行っています。



信頼性確保に向けて

コンプライアンスへの取り組み

「ヤクルト倫理綱領・行動規準」を制定し、従事者に対して周知・徹底を図るほか、部署・事業所ごとの「コンプライアンス担当者」の選任、社外の有識者を委員とする「コンプライアンス委員会」の設置などにより、透明かつ健全な企業経営につなげています。

コーポレート・ガバナンス体制の確立

「取締役会」の意思決定機能および監督機能の強化ならびに業務執行責任の明確化を図り、各機能の効率化を高めるため「執行役員制度」を導入しています。さらに、代表取締役などで構成する「経営政策審議会」や、執行役員などで構成する「執行役員会」を設置しています。

「SDGs達成への貢献」

ヤクルトグループは、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)を世界の持続可能な社会を実現するための共通課題・社会的責任として取り組むべきものと捉え、今後もその達成に向けて「世界の人々の健康で楽しい生活づくり」に貢献していきます。2018年には、第2回「ジャパンSDGsアワード」において以下の目標に貢献していると評価され、特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。



ヤクルトのCSRについて、詳しくは
ヤクルト本社Webサイト「CSR活動」



概要 Profile

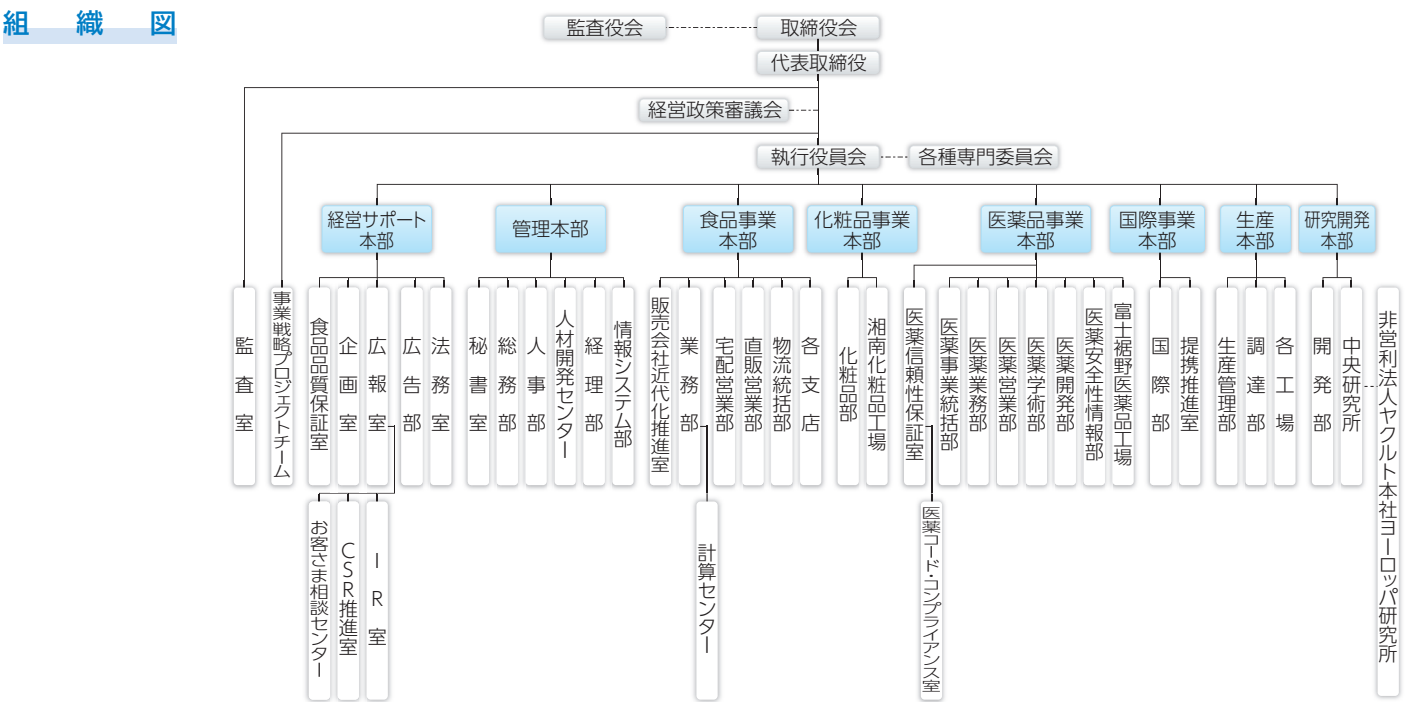
本 社 概 要	商 号	株式会社ヤクルト本社 (Yakult Honsha Co., Ltd.)	資 本 金	311億1,765万円
	創 業	1935年	決 算 期	3月末日
	設 立	1955年4月9日	従 業 員	2,876人 ※出向者302人、嘱託132人を含む
	所 在 地	東京都港区東新橋1丁目1番19号 ヤクルト 電話 03-3574-8960(大代表)	主要取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行、三菱UFJ銀行
				2019年3月末現在

主な事業内容 食品、化粧品、医薬品等の製造・販売など

主要関連会社	ヤクルト食品工業株式会社	ヤクルトヘルスフーズ株式会社	ヤクルト商事株式会社
	株式会社ヤクルトマテリアル	ヤクルト薬品工業株式会社	株式会社ヤクルトアセットマネジメント
	株式会社ワイ・ビー・シー	ヤクルトサポートビジネス株式会社	ヤクルトロジスティクス株式会社
	株式会社ヤクルト球団	株式会社ヤクルトライフサービス	株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス

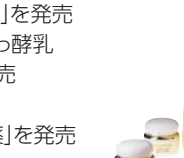
売上および利益(連結)	2015年3月期 第63期	2016年3月期 第64期	2017年3月期 第65期	2018年3月期 第66期	2019年3月期 第67期
売上高	367,980	390,412	378,307	401,569	407,017
営業利益	34,898	40,057	37,281	43,463	45,846
経常利益	45,608	50,629	49,370	53,054	57,121
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,056	28,843	30,154	34,064	34,935

(単位:百万円)



取締役・監査役	代表取締役社長	根 岸 孝 成	取締役(非常勤)	リチャード ホール	常 勤 監 査 役	阿 部 晃 範
	取 締 役	成 田 裕 裕	取締役(非常勤)	安 田 隆 二 (社外取締役)	常 勤 監 査 役	山 上 博 資
	取 締 役	若 林 宏 宏		福 岡 政 行 (社外取締役)	監 査 役	奥 平 哲 彦 (社外監査役)
	取 締 役	石 川 文 保	取締役(非常勤)	前 田 典 人 (社外取締役)	監 査 役	谷 川 清 十 郎 (社外監査役)
	取 締 役	伊 藤 正 徳	取締役(非常勤)	パ ス カ ル イ ヴ ド ペ ト リ ー ニ (社外取締役)	監 査 役	小 林 節 子 (社外監査役)
	取 締 役	土 井 明 文	取締役(非常勤)	戸 部 直 子 (社外取締役)	監 査 役	吉 田 宏 一 (社外監査役)
	取 締 役	林 田 哲 哉				手 塚 仙 夫 (社外監査役)
	取 締 役	平 野 晋				
	取 締 役	今 田 正 男				
	取 締 役					

2019年6月19日現在

ヤクルトの歴史		商品の歴史
1930年代	1930 ●代田 稔が人の健康に役立つ乳酸菌の強化培養に成功(乳酸菌 シロタ株)	1935 ●「ヤクルト」の製造・販売を開始
1940年代	1940 ●販売専門の「代田保護菌普及会」が各地に誕生	  1950年代のヤクルト (ガラス瓶) 1960年代のヤクルト (ガラス瓶)
1950年代	1955 ●株式会社ヤクルト本社を設立 (東京都中央区西八丁堀) ●京都に研究所を設立	 ヤクルト (プラスチック容器)
1960年代	1963 ●ヤクルト独自の婦人販売店システムを導入 1964 ●初の海外事業所として、台湾ヤクルトが営業を開始 1967 ●研究所を東京都国立市に設立 (のちの中央研究所) 1968 ●サンケイアトムズの経営を継承 (現ヤクルト球団)	   1968 ●プラスチック新容器による「ヤクルト」を発売 ジョア ミルミル
1970年代	1971 ●化粧品の本格販売を開始 1972 ●本社社屋が東京都港区東新橋に完成 ●ヤクルトレディによる「愛の訪問活動」を開始 1975 ●医療用医薬品「ビオラクチスカプセル」を発売し医薬品事業に参入	   1970 ●はっ酵乳「ジョア」を発売 1978 ●ビフィズス菌はっ酵乳「ミルミル」を発売 1979 ●一般用医薬品「ヤクルト整腸薬」を発売 ヤクルト整腸薬
1980年代	1980 ●東京証券取引所市場第二部に株式を上場 1981 ●東京証券取引所市場第一部に上場指定	  1980 ●「タフマン」を発売 1989 ●「リベシスE」シリーズを発売 リベシスEシリーズ タフマン
1990年代	1992 ●(財)ヤクルト・バイオサイエンス研究財団を設立 1994 ●「愛の訪問活動」が、ボランティア功労者として厚生大臣表彰を受賞 1997 ●食品産業優良企業表彰 (消費者対応部門) で農林水産大臣賞を受賞	    1994 ●抗悪性腫瘍剤イリノテカンが医薬品製造承認・発売される商品名「カンプト注」 1995 ●新高級基礎化粧品「パラビオ」シリーズを発売 1998 ●「ヤクルト」が「特定保健用食品」として表示を許可される ●「蕃爽麗茶」を発売 1999 ●「ヤクルト400」を発売 蕃爽麗茶 カンプト注 パラビオシリーズ ヤクルト400
2000年代	2004 ●ブルーダノンと戦略提携契約を締結 2005 ●ヨーロッパ(ベルギー)に研究拠点を設立 2006 ●ヤクルト化粧品の事業ブランドを「Yakult Beautiens」に	  2005 ●抗悪性腫瘍剤オキサリプラチンが輸入承認・発売される商品名「エルプラット」 2008 ●「ヤクルト」が「2008年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」(Gマーク)を受賞 エルプラット
2010年代	2012 ●ヤクルト宇宙プロジェクト「YAKULT SPACE DISCOVERY」を始動 2013 ●「乳酸菌 シロタ株」が米国・食品医薬品局(FDA)によりGRAS認証を取得 ●ダノンとの戦略提携契約を終了、協業関係に関する覚書を締結 2016 ●中央研究所の整備が完了 2018 ●第2回日本サービス大賞で「ヤクルトレディによる宅配サービス」が経済産業大臣賞を受賞 ●第2回ジャパンSDGsアワードで特別賞(SDGsパートナーシップ賞)を受賞 2019 ●2018年に続き、健康経営優良法人2019(大規模法人部門)～ホワイト500～に認定 ●世界の乳製品1日平均販売本数が4,000万本を超える(2019年3月期決算)	     2011 ●ヤクルト容器の形状を立体商標登録 ●「カンプト」が日本癌学会の学術賞を受賞 2013 ●「Newヤクルト」「Newヤクルト カロリーハーフ」を発売 2017 ●「シンバイオティクス ヤクルト W」を全国で発売 2018 ●「ヤクルトの美味しいはっ酵果実」を全国で発売 2019 ●「Yakult (ヤクルト) 1000」を関東1都6県で発売 立体商標として登録 シンバイオティクス ヤクルト W ヤクルト1000

健康をサポートするヤクルトのネットワーク

ヤクルトグループは、ヤクルト本社を中心として、ヤクルト商品を各地域に販売する販売会社、ヤクルトの容器成形、充填などを行うボトリング会社、その他関連会社等を含め国内約140社から構成される事業体です(海外を含め約170社)。



海外

海外事業所

- ヤクルトレディ …… 約47,300人
- 従事者 …… 約23,600人

2018年12月末現在

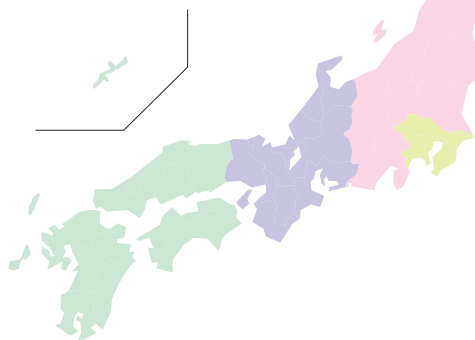
国内

国内事業所

- 本店 …… 1
- 支店 …… 5
- 研究所 …… 1
- 本社工場 …… 7
- 販売会社 …… 102
- ボトリング会社 …… 5
- ヤクルトレディ …… 約33,900人
- ヤクルトビューティ …… 約4,600人

2019年6月末現在

(ヤクルトレディ、ヤクルトビューティ数は2019年3月末現在)



ヤクルト本社 …… 食品、化粧品、医薬品等の製造・販売など
販売会社 …… ヤクルトブランド商品の販売
ボトリング会社 …… ヤクルト類の容器成形、充填

北海道ブロック

ヤクルトレディ 1,800
ヤクルトビューティ 840

■本社機構

北海道支店

■販売会社(9)

札幌ヤクルト販売(株) ●●
南北海道ヤクルト販売(株)
苫小牧ヤクルト販売(株)
岩見沢ヤクルト販売(株)
釧路ヤクルト販売(株)
帯広ヤクルト販売(株)
北見ヤクルト販売(株)
室蘭ヤクルト販売(株)
(株)ヤクルト北海道

東日本ブロック

ヤクルトレディ 8,200
ヤクルトビューティ 590

■本社機構

東日本支店

福島工場 ●●●
茨城工場 ●●●
富士裾野工場 ●●●●
富士裾野医薬品工場 ●

■販売会社(29)

青森ヤクルト販売(株)
岩手ヤクルト販売(株) ●●
宮古ヤクルト販売(株)

秋田ヤクルト販売(株)
大館ヤクルト販売(株)
横手ヤクルト販売(株)
山形ヤクルト販売(株)
米沢ヤクルト販売(株) ●
庄内ヤクルト販売(株)
宮城中央ヤクルト販売(株) ●●
※次の販売会社を統括
・大船渡ヤクルト販売(株)
石巻ヤクルト販売(株)
福島ヤクルト販売(株)
郡山ヤクルト販売(株)
会津ヤクルト販売(株)
いわきヤクルト販売(株)
水戸ヤクルト販売(株) ●
古河ヤクルト販売(株)
宇都宮ヤクルト販売(株)
両毛ヤクルト販売(株)
群馬ヤクルト販売(株)
東静岡ヤクルト販売(株)
中央静岡ヤクルト販売(株)
西静岡ヤクルト販売(株)
山梨ヤクルト販売(株)
南信ヤクルト販売(株)
北信ヤクルト販売(株)
新潟中央ヤクルト販売(株)
新発田ヤクルト販売(株)
上越ヤクルト販売(株)

■ボトリング会社(1)

(株)岩手ヤクルト工場 ●●●

支店

北海道支店 …… 〒060-0042	北海道札幌市中央区大通西6-10-10大通公園ビル6階
東日本支店 …… 〒100-0011	東京都千代田区内幸町1-1-7日比谷U-1ビル1階
東日本支店仙台営業所 …… 〒980-0021	宮城県仙台市青葉区中央1-6-35東京建物仙台ビル6階
首都圏支店 …… 〒104-0061	東京都中央区銀座6-18-2野村不動産銀座ビル10階
中日本支店 …… 〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田2-5-25ハービスOSAKA16階
西日本支店 …… 〒810-0004	福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82電気ビル北館4階

TEL 011-231-8960
TEL 03-5962-8960
TEL 022-713-8960
TEL 03-5148-8960
TEL 06-6341-8960
TEL 092-711-8960

中央研究所

中央研究所 …… 〒186-8650 東京都国立市泉5-11

TEL 042-577-8960

国内・海外の取得認証内容マール

●ISO9001 ●ISO14001 ●ISO22000 ●HACCP ●GMP ●FSSC22000 ●SQF

※ISO9001:品質マネジメントシステムの国際規格。 ※ISO14001:環境マネジメントシステムの国際規格。

※ISO22000、FSSC22000、SQF:食品安全マネジメントシステムの国際規格。 ※HACCP:Hazard Analysis and Critical Control Point 危害分析・重要管理点。衛生管理に関する国際基準。
※GMP:食品GMP(Good Manufacturing Practice)適正製造規範。台湾が取得していたGMPは、台湾内の認証制度TQFiに切り替わっています。

※各事業所にそれぞれの認証を取得した事務所、工場が一か所でもある場合にマールを付しています。なお、複数の事務所・工場を有する場合、それぞれ取得内容が異なるケースがあります。



- 1 台湾ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 2 香港ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 3 タイヤクルト株式会社 ●●●●●
- 4 韓国ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 5 フィリピンヤクルト株式会社 ●●●●●
- 6 シンガポールヤクルト株式会社 ●●●●●
- 7 インドネシアヤクルト株式会社 ●●●●●
- 8 オーストラリアヤクルト株式会社 ●●●●●
(ニュージーランド支店)
- 9 マレーシアヤクルト株式会社 ●●●●●
- 10 ベトナムヤクルト株式会社 ●●●●●
- 11 インドヤクルト・ダノン株式会社 ●●●●●
- 12 中東ヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- 13 ミャンマーヤクルト株式会社 ●●●●●
- 14 中国ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 15 広州ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 16 上海ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 17 北京ヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- 18 天津ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 19 無錫ヤクルト株式会社 ●●●●●
- 20 ブラジルヤクルト商工株式会社 ●●●●●
- 21 メキシコヤクルト株式会社 ●●●●●
- 22 アメリカヤクルト株式会社 ●●●●●
- 23 ヨーロッパヤクルト株式会社 ●●●●●
- 24 オランダヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- 25 ベルギーヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- 26 イギリスヤクルト販売株式会社 ●●●●●
(アイルランド支店)
- 27 ドイツヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- 28 オーストリアヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- 29 イタリアヤクルト販売株式会社 ●●●●●
- ★ 非営利法人ヤクルト本社ヨーロッパ研究所

・テストも含め販売されている国……………ブルネイ・オマーン・バーレーン・カタール・クウェート・ウルグアイ・カナダ・ペリズ・フランス・ルクセンブルグ・スペイン・マルタ・スイス・デンマーク

首都圏ブロック

ヤクルトレディ 7,700
ヤクルトビューティ 680

■本社機構

本店
首都圏支店
中央研究所 ●
湘南化粧品工場 ●

■販売会社(15)

埼玉ヤクルト販売(株)
埼玉東部ヤクルト販売(株)
かぞヤクルト販売(株)
埼玉西ヤクルト販売(株)
埼玉北部ヤクルト販売(株)
千葉県ヤクルト販売(株) ●●
城北ヤクルト販売(株)
葛飾ヤクルト販売(株)
西都ヤクルト販売(株)
東京ヤクルト販売(株) ●●
※次の販売会社を統括
・京北ヤクルト販売(株)
神奈川中央ヤクルト販売(株)
神奈川東部ヤクルト販売(株) ●●
湘南ヤクルト販売(株)
小田原ヤクルト販売(株)
厚木ヤクルト販売(株)

■ボトリング会社(1)

(株)千葉ヤクルト工場 ●●●●●

中日本ブロック

ヤクルトレディ 8,400
ヤクルトビューティ 970

■本社機構

中日本支店
兵庫三木工場 ●●●●●

■販売会社(19)

(株)ヤクルト東海
※次の4販売会社を統括
・名古屋ヤクルト販売(株)
・愛知中央ヤクルト販売(株)
・三重ヤクルト販売(株)
・岐阜ヤクルト販売(株)
尾張ヤクルト販売(株)
東三河ヤクルト販売(株)
富山ヤクルト販売(株)
(株)ヤクルト北陸
※次の販売会社を統括
・福井ヤクルト販売(株)
七尾ヤクルト販売(株)
京滋ヤクルト販売(株)
近畿中央ヤクルト販売(株) ●●
大阪北部ヤクルト販売(株)
千成ヤクルト販売(株)
堺ヤクルト販売(株)
大阪東部ヤクルト販売(株)
南大阪ヤクルト販売(株)
奈良ヤクルト販売(株)
和歌山ヤクルト販売(株)
神戸ヤクルト販売(株)
兵庫ヤクルト販売(株) ●

姫路ヤクルト販売(株)
淡路ヤクルト販売(株)

■ボトリング会社(1)

(株)愛知ヤクルト工場 ●●●●●

西日本ブロック

ヤクルトレディ 7,800
ヤクルトビューティ 1,520

■本社機構

西日本支店
佐賀工場 ●●●●●

■販売会社(30)

鳥取ヤクルト販売(株)
山陰ヤクルト販売(株)
岡山ヤクルト販売(株)
津山ヤクルト販売(株)
岡山県西部ヤクルト販売(株)
(株)ヤクルト山陽
※次の2販売会社を統括
・新広島ヤクルト販売(株) ●●
・山口ヤクルト販売(株) ●●
広島中央ヤクルト販売(株) ●●
山口県東部ヤクルト販売(株)
香川ヤクルト販売(株)
徳島ヤクルト販売(株)
高知ヤクルト販売(株)
松山ヤクルト販売(株)
愛媛東部ヤクルト販売(株)
愛媛南部ヤクルト販売(株)
北九州ヤクルト販売(株)
福岡ヤクルト販売(株)

中央福岡ヤクルト販売(株)
久留米ヤクルト販売(株)
大分ヤクルト販売(株)
佐賀県ヤクルト販売(株) ●●
長崎ヤクルト(株)
佐世保ヤクルト(株) ●●
五島ヤクルト販売(株)
熊本ヤクルト(株)
宮崎ヤクルト販売(株) ●●
都城ヤクルト販売(株) ●●
川内ヤクルト販売(株) ●●
鹿児島ヤクルト販売(株) ●●
鹿児島東部ヤクルト販売(株) ●●
沖縄ヤクルト(株)

■ボトリング会社(2)

(株)岡山和気ヤクルト工場 ●●●●●
(株)福岡ヤクルト工場 ●●●●●

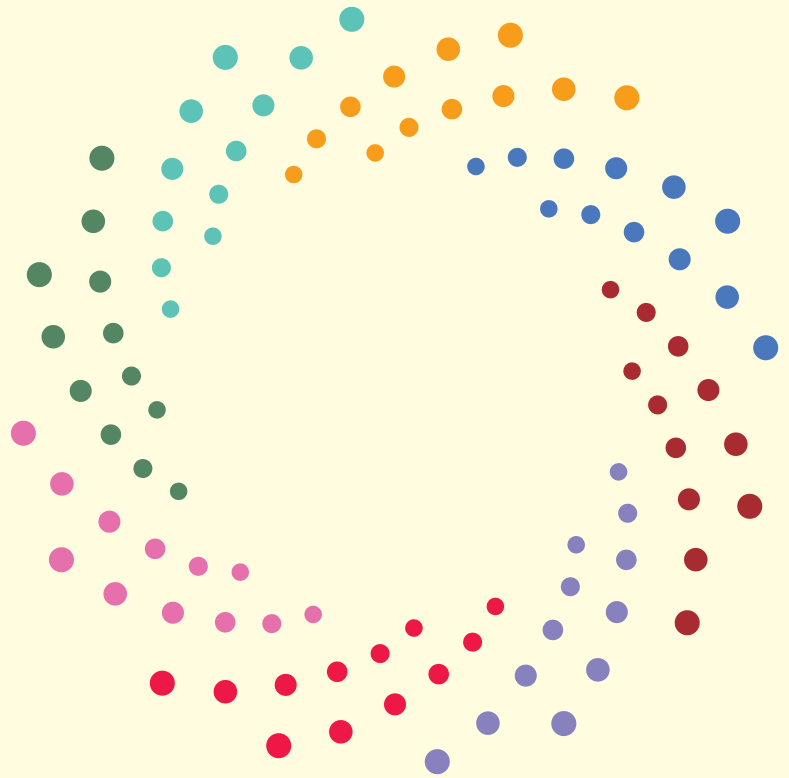
・ヤクルトレディ、ヤクルトビューティは概数で示しています。

本社工場

福島工場 …………… 〒960-8520 福島県福島市黒岩字遠沖10-1
茨城工場 …………… 〒306-0314 茨城県猿島郡五霞町大字川妻1232-2
湘南化粧品工場 …………… 〒251-0021 神奈川県藤沢市鶴沼神明2-5-10
富士裾野工場 …………… 〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1
富士裾野医薬品工場 …………… 〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1
兵庫三木工場 …………… 〒673-0514 兵庫県三木市志染町戸田字中尾1838-266
佐賀工場 …………… 〒842-0002 佐賀県神埼市神埼町田道ヶ里2300

TEL 024-546-8960
TEL 0280-84-2121
TEL 0466-25-8960
TEL 055-997-3311
TEL 055-997-4417
TEL 0794-89-8960
TEL 0952-52-8960

2019年6月末現在



information

お客さま相談センターのご紹介

ヤクルトでは、お客さまのご意見をお伺いし、ご質問にお答えしています。

フリーダイヤル(通話料無料) イイ ヤ ク ル ト

 **0120-11-8960**

お客さま相談センター

受付時間9:00～17:30

(土・日・祝日・夏季休業・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからはご利用になれません。

●インターネットのホームページに企業概要等を掲載中。

<https://www.yakult.co.jp>



株式会社ヤクルト本社

〒105-8660 東京都港区東新橋1-1-19
TEL 03(3574)8960(大代表)
ヤクルト